

高校でメタバースを活用した投資教育を実施

野村総合研究所（NRI）では、昨年12月から本年3月にかけて、全国の高等学校10校においてメタバースを活用した投資教育プログラム「資産運用キャンパス」の授業を行った。

本プログラムは、投資信託協会で開催された「仮想空間を活用した投資教育勉強会」において、メタバースの活用についての道筋がみえたことに基づくもので、実証実験の位置づけで行った。すでに教科書会社などでは、メタバース技術を活用した教材の提供を始めている。その教材の主な目的は、生徒に特定のテーマを体験させ興味を持たせることである。今回、プログラムの投資体験で仮想空間を用いたことは、現在の教育メタバース活用の方向性に即したものと見えよう。

具体的には、生徒がアバターとなって、20年前、15年前、5年前、現在の仮想空間を自由に動き回り、当時の産業の様子や投資に関するヒントを集め、それぞれの時代で投資信託を選んで投資を体験する。生徒は次の時代に移動した際、自分の運用成果を確認することができる。投資信託は実在するもので、基準価額データはリアルなデータを使用している¹⁾。

投資体験の前には、仮想空間内の教室で、ビデオで投資の知識を学ぶことができる。そのため「知識を学んだ後、投資を体験したため分かりやすかった」という生徒の声も上がった。

図表1 仮想空間での授業の様子



生徒たちがアバターになって、メタバース空間で投資の知識を勉強

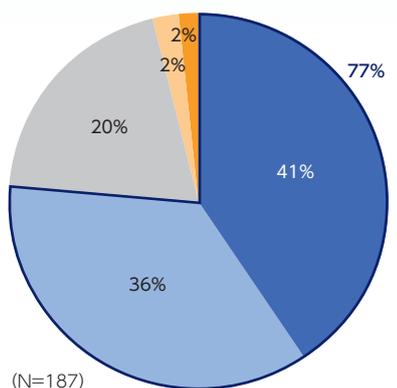
75%以上の生徒が友人に薦めたいと回答

授業後のアンケートでは、75%以上の生徒が別のクラスの友人に薦めたいと回答した（図表2）。その理由として、「仮想空間での授業が楽しかった」、「投資体験ができて良かった」などが挙げられていた（図表3）。授業が難しかったという生徒が15%程度存在するものの、仮想空間での「体験」や「楽しさ」が授業全体の印象を押し上げたものと推察される。

授業を受けた生徒の投資への興味は「興味がある」

図表2 生徒へのアンケート結果①

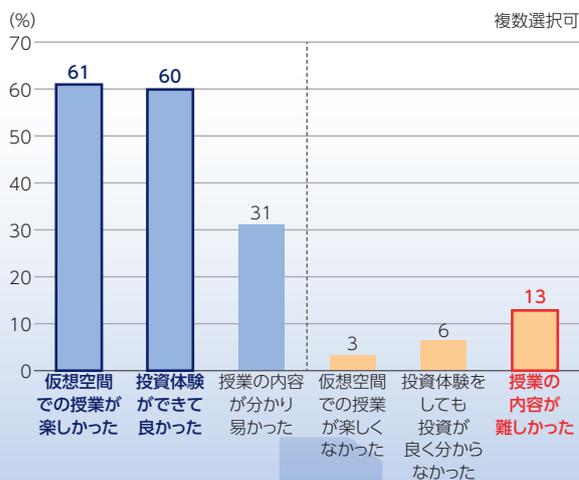
～この授業を友人に薦めたいと思いますか？～



(出所) 野村総合研究所

図表3 生徒へのアンケート結果②

～なぜそのように思いましたか？～

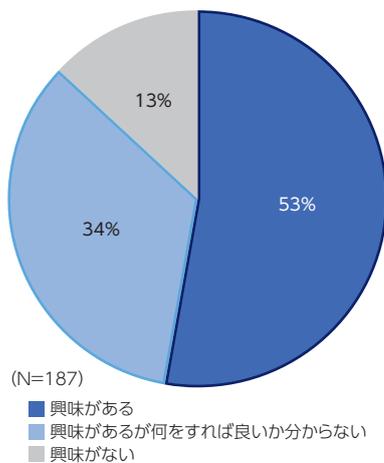


(出所) 野村総合研究所

(53%)、「興味があるが何をすれば良いかわからない」(34%)となった(図表4)。3分の1程度の生徒が「興味があるが何をすれば良いかわからない」と感じた点については、今後のプログラムの見直しの中で、金融機関との連携が欠かせないと考えている。

その他、授業を受けた生徒達から、こうした授業の必要性の確信がもてる感想を多数いただいた。ここで一部、紹介したい。「これまで受けた授業の中で最も実践的だった」「投資を始めたいと思っていたが学ぶ機会がなかった。体験ができて良かった」「投資はギャンブルみたいというイメージを払拭できた」「高校生には先のことだと思っていたが、投資は早く始めて長い年月をかけて行うものだと分かった」「投資信託だと投資に費やす時間も減り、プロに任せられることが分かった」「もっと本格的に投資を学びたいと思った。どのように学べば良いかも教えて欲しかった」

図表4 生徒へのアンケート結果③
～授業を受けた後の投資への興味は？～



(出所) 野村総合研究所

24年度から本格的に展開、 金融・教育機関とのタイアップも

実証実験の位置付けで実施した「資産運用キャンパス」は、24年度からは本格的に全国の高校で展開する予定である。今回のプログラムは島嶼部や山間部を含む日本中のすべての学生に、ICT環境を通して、専門家による授業を、均質かつ楽しさを交えて届けることを目的としている。すなわち、学校のWiFiや学校内のコン

ピュータ室、または生徒の自宅から仮想空間へのアクセスが可能であれば、授業中、Zoomなどの手段を使ってコミュニケーションができるのだ。

授業の実施主体については、NRIだけで授業を行うのではなく、金融機関と共同で開催することや、金融機関が主体の仮想空間を使った授業をNRIが後方からサポートすることも検討している。その理由の一つには、投資教育の後で増加する「投資に興味はあるが何をすれば良いかわからない」生徒たちに対して、具体的に投資の始め方を示し、投資の機会を提供することができるのは金融機関だからである。

金融機関以外にも、インターネット経由の授業を展開する教育機関とのタイアップの準備も進めている。ここでは、学生に授業を提供するだけでなく、金融業界やIT業界の仕事に興味を持ってもらうことを目的に、学生自身が投資教育を行うプロジェクト型学習の運営に参加する機会の提供を行う予定である。

なお、今回の実証実験を行った複数の都内の公立高校(都立高校)では、学校のWiFiから仮想空間のサーバーへアクセスすることができないネットワークの設定となっていた。他県の公立高校や都内の私立高校でWiFi経由でのアクセスが可能であることを踏まえると、都立高校においてもメタバース・プラットフォームを活用した授業を可能とする環境整備が求められる。

図表5 都立高校での授業風景



1) 今回の企画では、資産運用会社10社から基準価額データの提供や授業実施校の紹介など、さまざまな形で協力いただいた。